日光諸社案内記

特別
ル3
3617
90

鉢石宿を出て○神橋山号の堺橋と云古事多し○中山通り右の方満願寺此地内に西大師様光相輪塔金唐銅高さ三丈余○石鳥居は黒田筑前守様に國元運ひ上る高さ三丈二尺廻り壹丈三尺笠石長さ七間三尺に影石也○五重塔高三十三間酒井若狭守様より上る十二支に影物あり○此右の方に御入口の御門三ツ巴アウン金の唐獅子に影物の箱の籠あり象頭

日光コロ
今市 二リ半
大澤 一リ半
徳次郎 二リ半
宇都宮 二リ半
雀ノ宮 一リ半
石末し 一リ半
小金井 一リ半
新田 一リ半
小山 一リ半
間々田 二リ半

梁鳥居は猶也唐銅石燈籠諸大名様より上る有り○御神木槙木○三神庫三ツ御宝蔵○厨白木造猿のはき物○御水屋石のうらに十二本金に成りの打浪飛龍の彫もの御手水鉢石八四尺に九尺より鍋島様上る○二ノ御華居○南なん鐵の燈籠仙臺様より上る○旧一切經堂笑佛三像あり俗に笑堂と云○御中段左右飛龍の獅子彫り有り○琉球國より上る三十一口燭臺蓮燈と云朝鮮國より上る鉤鐘虫食鐘と

野木 一リ半
古河 一リ半
中田 半リ
栗橋 二リ
幸手 一リ
杉戸 一リ半
かすかべ 二リ半
越谷 二リ半
草加 三リ
千住 二リ
東京

云同國ヨリ上ル廻リ燈籠○阿蘭陀ヨリ上ル鉤燈籠
いつれも銘有○左右旧二樓鼓樓○旧本地堂十二間
四面惣朱塗内おりもの多〳〵○御廻廊裏の大彫
の松竹梅孔雀鳳凰金鶏也○日ぐらし御門左右隨身
から破風扇たらき四方金の風鐸惣から木一本木の
ほりものとく麒麟乱獅子百花百鳥○龍○天人○仙
人○三笑○四友○六侍○九哲いつれも極彩色の彫
ものの外ものをとゝ御天井ハ古法眼元信の龍

日光ヨリ
中宮祠
一リ半
上ケ
一リ半
古金原
三リ
鬼の尾
一リ
粕尾
一リ半
ゆの
一リ半
出流
一リ半
くらこ
二リ
岩船
一リ
天明
一リ
館林
一リ半

八方ハ六方もゝみとゝ御裏方ハ金獅子○神輿庫
二季御祭礼神輿三社おさまれて○御唐御門
惣唐木彫物多〳〵御屋根上ハ恙の虫つなきおろ
○御拜殿そなて参詣御本社御拜殿の間を御
石の間と唱ふ内鋪石二重一枚石御亀もゝいゝと
云此内結構恐多くして舌端ハ述ゝ百色の
鳥金銀の花堆朱の内一其外恐多きハ禁ス
○御玉垣四方山鳥水鳥草木の今残らず兩面

川ヨリ
一リ
新つ
一リ半
忍
日光ヨリ
二リ
今市
二リ
鬼怒岩
大渡
二リ
舟生
二リ
玉生
二リ
高内
四リ
矢板
一リ半
沢村
三リ

の内彫ゝの○御神樂殿旧護ヂ堂いつも同断
ゝほりゝの多ゝ東西御大廊二百間余奥院入口猫
の御門内坂下御門日御供廊下何も惣赤ゝ丹
のまゝ也○二荒山の御鳥居御本社八方八棟造
中宮祠と同神也大伽藍間十八間奥行十四間高
二十三間也左り坂を下り常行堂阿弥陀如来
右の方法華堂子養育鬼子母神安置此間坂を
の内ゝ慈眼大師御堂ふり正面八大獻院様御

大田原 三リ
あへのけ 六丁
越ヶ谷 一リ
芦の 二リ十二丁
ちら坂 一リ十三丁
白川 一リ
祝ゝ 廿七丁
小田川 十三丁
大田川 三十丁
ふかせ 廿三丁
大つく 十二丁
新田 十一丁

美屋御入口御アウンの仁王三ツ棟内用ゝの唐御
子左りの方御宝藏唐銅石燈籠ゝ諸大名
様こり上ル也御水屋石柱十二本内天井の龍
ハ狩野安信の筆也二天御門持國天廣目天
御裏方風神雷神ふり石坂ヲ上り左右鐘楼
鼓楼夜叉御門捷陀羅夜叉○
烏摩勒夜叉○阿跋摩夜叉御不利ゝの多ゝ
御唐御門御玉垣ゝいつもゝおまもりの御

矢吹 廿二丁
きうゝ 十二丁
かさ石 一リ半
もゝ川
見ヨリ 一リ半
山久保 一リ廿丁
小来川 一リ
大芦 一リ十二丁
久義 石裂 二リ半
むさく

38-799

拜殿此内結構恐多き故禁足奥院ハ入口
皇嘉御門夫より御供所龍光院也○瀧尾社○
佛岩○飯盛杉○手掛石○素麺滝○子種石
○三本杉夫々かんまん（十丁 弘法大師 十ケ筆） 大日堂へ
十八丁 池石○若子社（一丁）○七滝布引滝一の滝
○裏見滝○盤若滝法華滝○花巖滝○神子
石○牛石○中宮祠（三丁） 坂東拾八番 立木観音
○湖畔（三丁） 上野島 日光開山勝道上人ノ塔アリ 歌、濱妙見社

日光（三丁）
不動尾（一丁）
神子内（二丁）
足尾（二丁）
ちくふと（二丁）
もるこ（三丁）
ふら沢（一丁）
そろ沢（一丁）
大朝（四丁）
前さし
高さき（二丁半）
板ちか（二十丁）

あと○湯元（三丁） 庚申浄土（六丁） 古峰原（六丁）中
宮祠（三丁）出ぬまつあり
外山（四丁） 水岩（四丁） 霧降滝（三丁半）

板元 日光鉢石町 鬼平金四郎

安中（二丁半）
松井田（二丁半）
坂本（二丁半）
かるい沢（一丁半）
杏（二丁）
追分
小諸（二丁）
田神（二丁）
上田（二丁）
坂木（二丁半）
戸倉（二丁）
ちくま嶋（二丁）
善光寺